

閉会中の調査報告

予算常任委員会
委員長 細川ゆかり

開催日時 令和7年4月7日（月）9：22～：9：40
出席者 細川ゆかり委員長、奥村幹郎副委員長、森淳委員、加藤貞一郎委員、堀田繁樹委員、立入善治委員、川波忠臣委員、曾我部一帆委員、澤田厚委員、（上野顕介議長）

◎3月議会定例会の反省について

- ・知識不足、勉強不足を非常に痛感した。
- ・先輩方の質疑を聞いていて、「虫の目」「鳥の目」（物事を見る際の視点のこと）という言い方があるが、自分は「虫の目」の見方しかできていなかった。次回は、ミクロ的な視点を持ちながら、マクロ的な質疑ができるようにしっかりと勉強していきたい。
- ・委員長に発言許可を求める時は、挙手だけでなく、「委員長」という発言をすべきである。
- ・関連質疑をする時は、その資料ページ等において集中して行い、そこで一旦終わって進めることが、委員会運営の効率化に繋がると考える。
- ・厳に慎むべき発言について、委員会においても注意して臨むべきである。
- ・委員会の傍聴は、委員長の許可が必要だが、特に委員会審査中に入室される場合の対応等について湖南市議会として再度検討する必要がある。
- ・総括質疑について、資料もしくは答弁の訂正等があることがあるため、全ての部局の質疑を一旦中断し、最終日に総括質疑の時間を設けるべきである。
- ・委員会においてもしっかりと討論を行っていくべきである。

○執行部に対しての要望

- ・新しい事業の取り組みについては、資料をつけてしっかりと説明を願いたい。
- ・継続事業で増減の大きなものについては、増減理由等資料に記載願いたい。
- ・国・県の補助金が、全体の事業費の中でどれくらいの割合を占めているか等を明示願いたい。
- ・歳入に基づいて歳出予算を組み込むというのが原則で、歳入についてもっと詳細に説明すべきであり、その資料の提出を願いたい。
- ・説明資料に詳細を記入願いたい。